

第3版はしがき

2012（平成24）年4月に本書第2版を上梓して以降、早くも10年余が経過しました。

この間、元号は平成から令和に変わるとともに、比較的大きなものだけでも2017（平成29）年の性犯罪規定の改正や昨2022（令和4）年の侮辱罪法定刑の引上げ、懲役と禁錮を拘禁刑に一本化する改正など、刑法全体に影響する大きな部分改正がありました。加えて、強制わいせつ罪に関する平成29年11月29日の最高裁大法廷判決（刑集71巻9号467頁）や同時傷害の特例に関する令和2年9月30日の最高裁決定（刑集74巻6号669頁）など、いくつかの重要な裁判例も出ています。今回の改訂は、これらを反映したものです。これによって、本書は最新の刑法解釈を反映するものとなりました。もちろん、簡単な事例を手掛かりにして読者の理解を深めるという本書の特徴は、これまでと変わりません。これにより、本書が引き続き多くの読者に迎えられることを期待しております。

なお、今回も、お忙しい中、改訂作業を迅速に行っていただいた執筆者各位に感謝するとともに、編集・出版作業でお世話になりました法律文化社編集部 の梶原有美子氏にも、記して謝意を表します。

2023年1月

立命館大学教授 松宮 孝明